日刊建設産業新聞（2020 年１月 31 日付２面掲載）

【オリコンサルグローバル　アビジャン港穀物バース建設で起工式
準備調査、詳細設計など担当】

アビジャン港穀物バース建設で起工式

オリコンサルグローバル
準備調査、詳細設計など担当

オリエンタルコンサルタンツグローバルが準備調査と詳細設計に携わり、施工監理等のコンサルティングサービスでは同社とエコー、アンジェロセックのＪＶが担当した「アビジャン港穀物バース建設事業」の起工式が16日、コートジボワール国アビジャン自治港で執り行われた＝写真。

式典には、コートジボワール側からアマドゥ・コネ運輸大臣、コベナン・クアシ・アジュマニ農業・農村開発大臣、フィリップ・レグレ海事担当運輸副大臣、イアン・ヤクバ・シエ アビジャン自治港総裁など多数の関係者が、日本側からは倉光秀彰駐コートジボワール特命全権大使、藤野浩次郎ＪＩＣＡコートジボワール事務所長らが出席した。

アビジャン港は、同国の物流拠点であり、コンテナ取扱量等において西アフリカ最大となっている。また、同国内戦終結後以降の高い経済成長に伴う貨物需要の増大に対し、同港既存インフラ、特に穀物用バースの拡張が追いついていないことから、その増強は同国政府にとって優先して取り組むべき課題の1つとなっていた。

同事業は、新規に穀物バースを整備することによって、同国および周囲のサヘル地域内陸国の増大する需要に応え、その食糧安全保障に貢献することが期待されている。

施工は、東亜建設工業が担当している。